

事業所名

Basic あいおん (児童発達支援)

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和6 年

9 月

1 日

事業所理念	生活に必要とされる基礎・基本にポイントをしぼり、個々の発達段階に応じた支援を提供する。		
支援方針	物事に自ら取り組む姿勢や、コミュニケーション力、適応力など社会生活を送る上で必要なスキルをつけていけるよう支援する。		
営業時間	平日：9時15分～17時45分 土・祝・長期休暇：9時45分～16時30分（年末年始、臨時休業あり）	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	健康状態の把握、個人の特性を理解した上で、支援が出来るようにする。 就学に向けて必要な生活スキルの向上を目指し、支援する。 身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分でする。	
	運動・感覚	模倣訓練、集団行動、ストレッチなど様々な運動を通して体を動かす楽しさを味わえるようにする。 模倣やポディーイメージができるよう、少しずつ体を動かすことに慣らしていき、その中で反射神経や粗大運動面の育成を図る。 身体を使い、様々な表現活動を楽しむ。	
	認知・行動	実体験を通して、様々な状況やものの認知・理解を広げていく。また絵カード、絵本、音声などの教材も使用し、視覚・聴覚・触覚などの感覚を活性化できるよう支援する。 様々な音、色、形、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりすることでものの理解を深める。	
	言語 コミュニケーション	自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わえるようにする。 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、他者と心を通わせる喜びを感じられるようにする。 職員と一緒にごっこ遊びなどをする中で、言葉のやり取りを楽しめるようにする。	
	人間関係 社会性	安心できる職員との関係の下で、身近な大人や他利用者に関心を持ち、模倣して遊んだり、自ら関わろうとする機会を大切に支援する。 自立に向けて、自分のことは自分で取り組む機会を増やし、一人でできた喜びを感じられるようにする。 状況に応じた、気持ちのコントロールができるよう支援する。	
家族支援	事業所内面談において、成長の基盤となる家庭支援を安定・充実させるための相談援助を行う。保護者会等(不定期開催)で支援のポイントをレクチャーする。また、保護者同士が交流する機会を設ける。	移行支援	ここのニーズに応じて学校等利用者の関係機関との連携を図り、支援内容の情報共有を行う。
地域支援・地域連携	地域の放課後等デイサービス連絡会当情報共有の場へ参加し、連携を図る。	職員の質の向上	職員研修を実施し、支援力の向上を図る。支援前後にミーティングを実施し、情報共有をすることで統一支援を行う。
主な行事等	お仕事体験イベント・夏祭り・調理イベント・公共機関を使つての外出イベントなど		